

活用事例②

愛知県立港特別支援学校
小原 保男

■活動した学年：小学部2年

■主障害名：脳性まひ

■各教科等名：生活科

■学習形態：一斉授業

■本の名前：

『海の中をのぞいてみよう2 ～みんな地球の仲間たち～』

『海の中のかくれんぼ ど～こだ!!』

■対象となる児童・生徒の実態

対象の児童は、脳性まひによる運動障害と、無意識の反り返りや上肢の不随意運動があるため、筆記や教科書のページめくりなどが難しい。ただし、指一本でのパソコンのキーボードやタブレット型端末でのクリック操作は、誤操作は時々あるものの、筆記や教科書のページめくりに比べると、問題なく行えるレベルである。

今回、社会見学で水族館に行くための事前学習として、海の生き物についての調べ学習をすることになった。そこで、わいわい文庫の電子図書『海の中をのぞいてみよう2～みんな地球の仲間たち～』『海の中のかくれんぼど～こだ!!』の2本を使い、調べ学習を行うことにした。

■学習のねらい

見学地の水族館にいる海の生物を中心に、調べ学習をする際に、『海の中をのぞいてみよう2～みんな地球の仲間たち』『海の中のかくれんぼ ど～こだ!!』を使い、海の生物の生態や外見の多様性に気づき、興味・関心をもったことを簡単にまとめる。

■使用した道具・機材

大型テレビ、HDMIケーブル、わいわい文庫CD、Windowsパソコン、ワイヤレスマウス、マウス固定用パッド

■実際の様子について



大型テレビに映したパソコン画面を提示し、児童の手に置いた操作用のパソコンのキーボードやワイヤレスマウスを使い、CDの資料の操作方法を

説明した。操作自体は、指一本で可能なため、ワイヤレスマウスを使って、自分で調べ学習を進めることができた。自分のペースでCDの資料を使った調べ学習を進めることができるため、意欲的に活動に取り組んでいた。また、『海の中のかくれんぼ ど〜こだ!!』では、海の中の、どこに生き物が生息しているかに関心を持ち、集中して学習に取り組めた。

上肢に運動障害がある児童や不随意運動がある児童であっても、指一本で操作して、自発的に調べ学習に取り組むことができるわいわい文庫の利用は、とても有効な学習手段であると感じた。

■本に対する情報提供など



【本の情報】

『海の中をのぞいてみよう 2～みんな地球の仲間たち』

海の生物や変わった卵、化石化した殻が、きれいな写真で小学生でも理解しやすく説明されている。

水族館でもよく見る「クマノミ」や、姿かたちからつけられた、おもしろい

名前の「オジサン」、とてもきれいな花の形をした「ボブサンウミウシ」の卵塊など、小学生から高校生まで、海の生物への興味・関心が広がる本だと思う。



【本の情報】

『海の中のかくれんぼ ど〜こだ!!』

海の中で外敵から身を守るために進化した生物たち9種類ほどを、関心が高くもてるよう、クイズ形式できれいな写真と共に紹介されている。

大型テレビに映すことで、海底の様子がよくわかり、隠れている生物を集中して探すことができる。海の不思議な生物は、小学生から高校生まで興味・関心がもてる題材である。